

# 放射線から子どもたちを守る三郷連絡会

## 設立10周年記念集会



2019年12月  
三郷公園放射線量測定



2017年6月 崎山比早子先生  
をお招きして学習会

←三郷市での市民自主検査活動に協力

## プログラム

(一部変更することがあります)

あいさつ 連絡会代表 大場敏明

記念講演1 「市民による、のべ1万人の甲状腺検査報告」

講師:木本さゆり・佐藤登志子 (関東子ども健康調査支援基金共同代表)

記念講演2 「二度と同じことを起こさないために、  
地元の首都老朽原発・東海第二原発を止めておく」

講師:大石光伸 (東海第二原発運転差し止め訴訟原告共同代表)

10年間の活動経過と今後

連絡会事務局長 荒木浩二

なおコロナ情勢により予定が  
変更になる場合があります。  
下記サイトでお知らせします。

<https://misato-rad.jimdofree.com/>  
またはQRコード参照

## 2021年6月19日(土)

開場13:30 開会14:00 終了予定16:30

会場: 三郷市文化会館 大会議室

主催: 放射線から子どもたちを守る三郷連絡会

参加無料 お問い合わせ Eメール: [misato.rad.kids@clinic-fw.org](mailto:misato.rad.kids@clinic-fw.org)

電話: 048-950-3330 (クリニックふれあい早稲田)



# 「市民による、のべ1万人の甲状腺検査報告」



木本さゆり講師



佐藤登志子講師

- 1 関東汚染地域1万人の甲状腺検査結果と検診の意義
- 2 福島の甲状腺検査(対象者数、罹患者数、検討委員会の議論、  
依拠するデータが原子力推進の機関であること)
- 3 なぜこの検査をやらなければならなくなったか(福島事故と、被災者支援法)
- 4 2030年カーボンニュートラルで、東海第二を動かしてはならない

## 「二度と同じことを起こさないために、地元の 首都老朽原発・東海第二原発を止めておく」

1. 2011年の福島第一原発事故による子どもたちの健康影響を見守る活動。同時に「二度と繰り返さないために」原発はもう止める活動。
2. 広島・長崎の戦争結末と歴史経験。「核の平和利用」と称する「原発」の国策推進。その結末である福島第一原発事故の意味の確認。
3. 事故後「原発安全神話」から「放射能安全神話」へ新たな安全神話づくり。三たびだまされるな。
4. 首都圏原発周辺の状況と今回の水戸地裁判決の意味。「リスクを地方に押しつけて首都に電力を供給する都会生活」の二重の無頓着さを自覚し行動すること。
5. 私たちの世代の責任。水戸地裁判決を確定させる事と、首都圏での住民運動で東海第二原発をまずは止めること。後始末を将来世代へ残さない。



大石光伸講師